



NPO GREEN WIND ASIA
YAMANAMI-JUKU
SKETCH COMPETITION 2019
PHOTOBOOK



はじめに

近・現代におけるメコン川流域諸国（中国雲南省、ミャンマー、ラオス、タイ、カンボジア、ベトナム）は、経済発展を第一とした開発を優先させてきました。それは地域に対して大きな利益を生む一方で、背景では地域の豊かな自然と伝統文化、それを象徴する文化遺産が失われつつあることも事実です。私たちは修復技術を伝えるだけでなく、かつてこの地域にはどのような文化遺産が息付いていたのか知ること、そして何故地域の文化遺産の保護が必要なのか、どのように可能なのか、ともに考えるための活動を進めてきました。これまでの経験を踏まえ、GREEN WIND ASIA は、広くみなさまに参加いただける活動を行うことで、地域の伝統文化の保存復興に寄与し、それに携わる人材育成事業を行って参ります。村の子供達の情操教育を支援し、遺跡に親しんでもらうことはそのための基礎的な一歩と考えています。そして、開発と保存の調和のとれた地域社会環境づくりが目標です。

目次

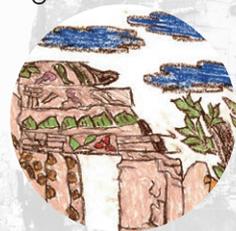
はじめに 1
目次 2

GWA について 3
GWA とは何か



やまなみ塾の活動 4
やまなみ塾とは
2019 年写生大会

子どもたちの作品(一部抜粋) 6
Bayon Face
Boyon Tree
Bas・Relief
Apsara Devada
Architecture



あとがき 19

GWA について

－GWA とは何か？

GREEN WIND ASIA（通称：GWA）代表の中川武は、1991 年からカンボジアの遺跡修復を手がけ続けています。そのなかで、伝統文化と自然を、地域の人々とともに大切にすることの意義を感じました。

2005 年に、前身となる NPO 法人アンコールやまなみファンド（通称：AYF）を設立。アンコール遺跡周辺の小学生に修復活動を紹介したり、遺跡に隣接するアンコール・クラウ村にフリースクール「やまなみ塾」を建設したりと、地域の子どもたちの情操教育の支援や交流会を行ってきました。

将来、子どもたちに地域の文化遺産を守ってほしい。GWA は、今までの活動を引き継ぎ、さらに多くの方々に参加いただくため、2014 年に設立されました。



守る活動

日本とメコン流域国にて、地域の文化遺産を保全する活動を行っています。



伝える活動

文化遺産の魅力を多くの方に知っていただくために活動しています。



育てる活動

地域の文化遺産を地域の方々に守っていただけるよう、教育支援を行っています。

やまなみ塾の活動

－やまなみ塾とは

カンボジア・アンコール遺跡群の麓にあるクラウ村では、2006年に「やまなみ塾」というフリースクールを開校しました。これはGWAの前身である、アンコールやまなみファンド（AYF）の時代からの活動になります。このスクールでは、毎年、AYFのメンバーと地元の小学生たちが交流会を重ね、アンコール遺跡に親しみながら勉強ができるように、遺跡での写生大会なども定期的に開催してきました。



－2019年写生大会

2019年11月22日にやまなみ塾にて写生大会を開催しました。ノコールクラウ小学校の30名の子どもたちが、JASA（日本国政府アンコール遺跡救済チーム）の修復専門家やプノンペンで建築美術を勉強する学生の教えのもと、思いおもいにバイヨン寺院遺跡のスケッチをしました。



一 写生大会の流れ



ノコールクラウ小学校はアンコール・トムの北西に近接しています。朝、ジープとバスで子どもたちを迎えに行きました



出発

いざ、バイヨン寺院へ

和気あいあいとした授業の始まり



JASA のクメール専門家と建築ドローイングの若い研究生が子どもたちを指導してくれました。





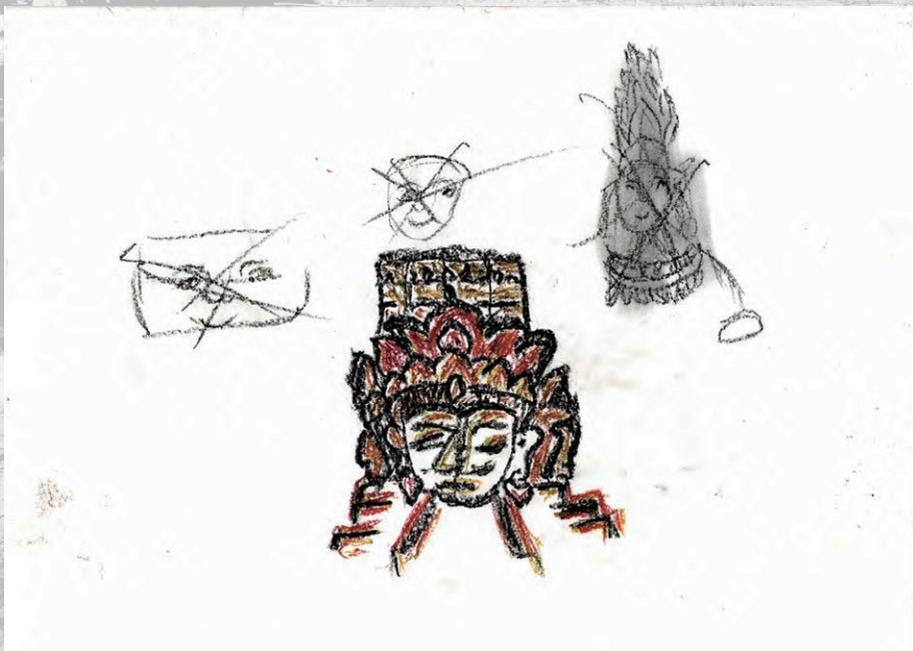
● 思いおもいに遺跡のスケッチへ ●

● スケッチを終え、講評会へ ●

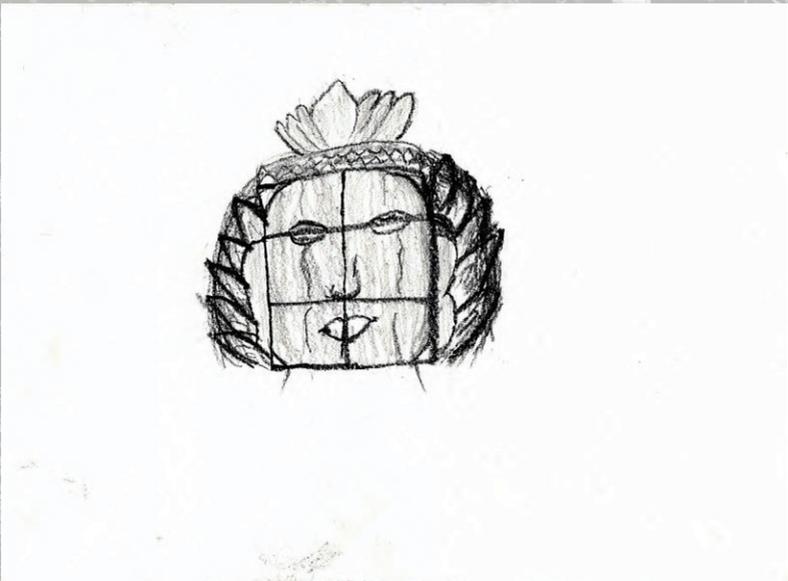
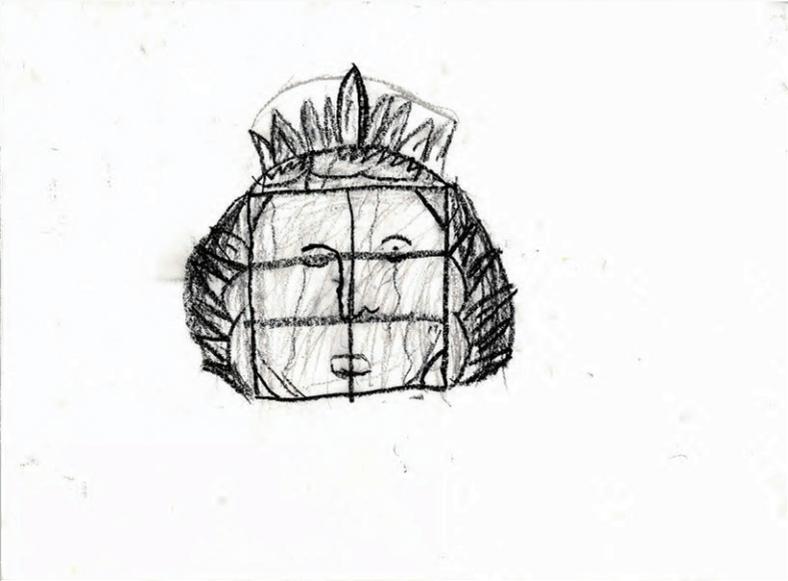


子どもたちの作品（一部抜粋）

— Bayon Face







— Bayon Tree

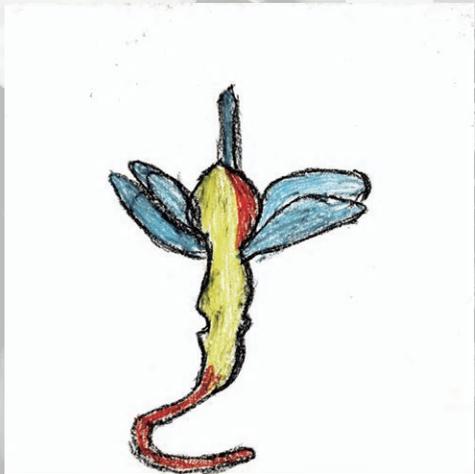
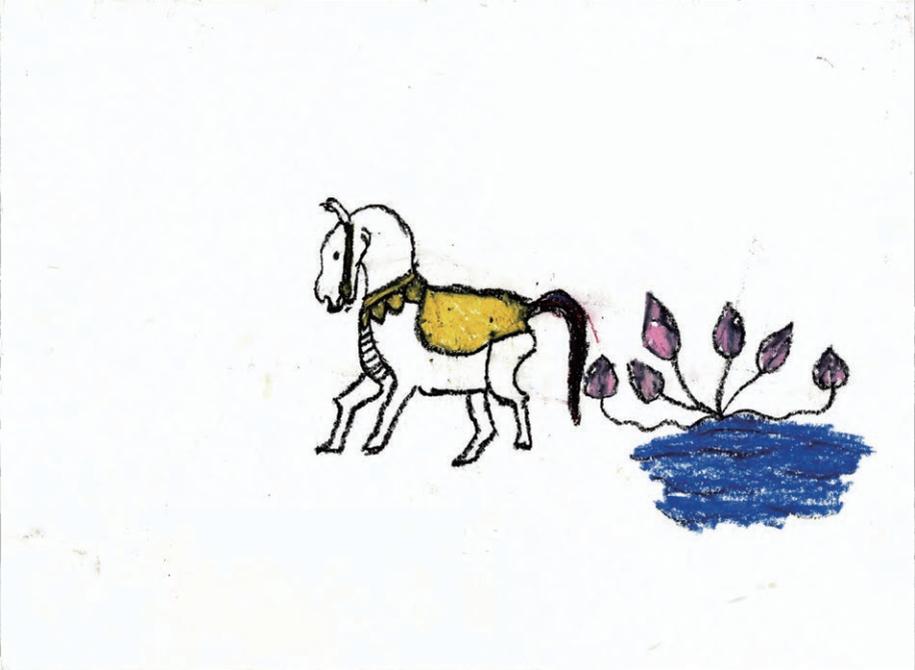
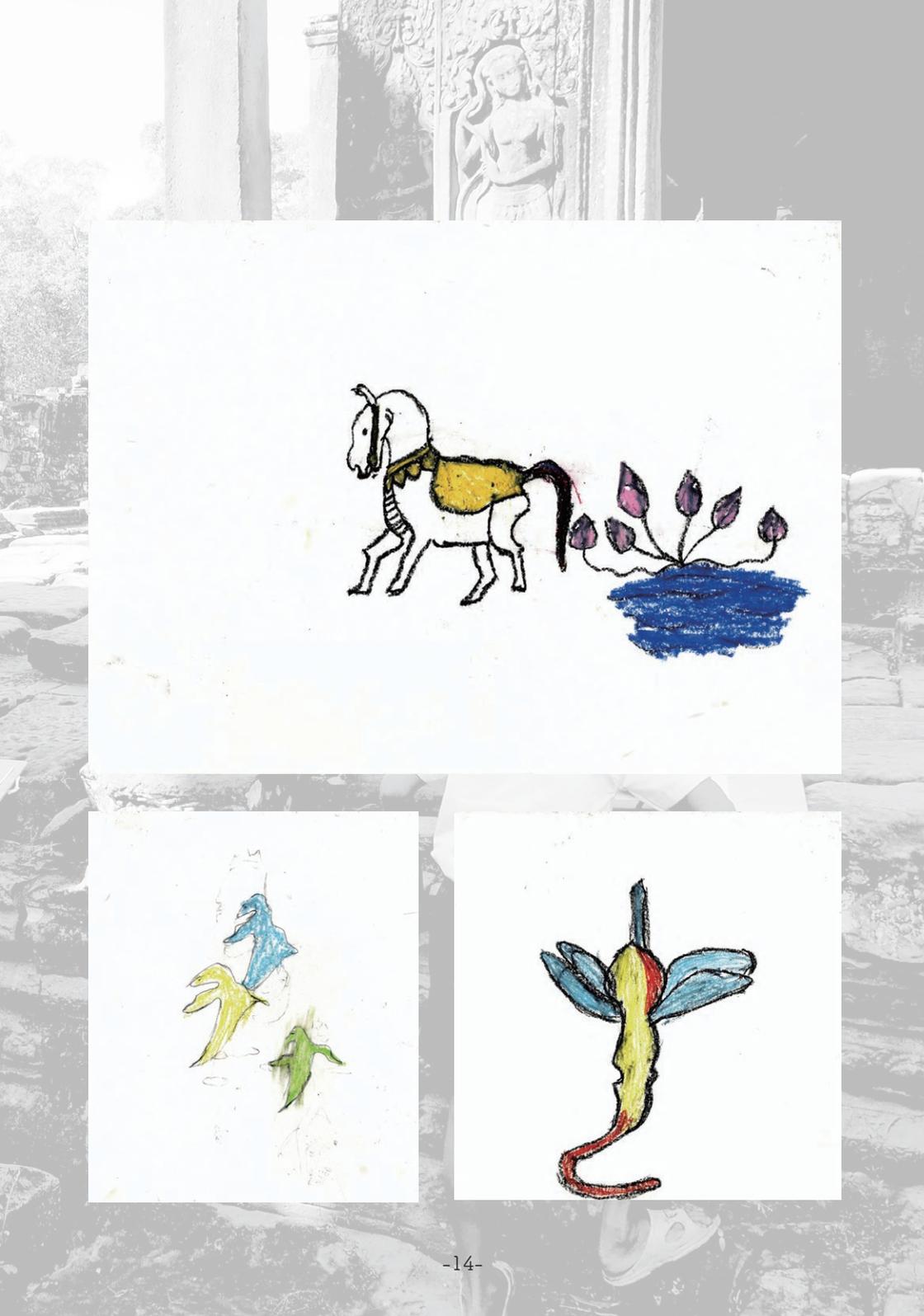






— Bas • Relief



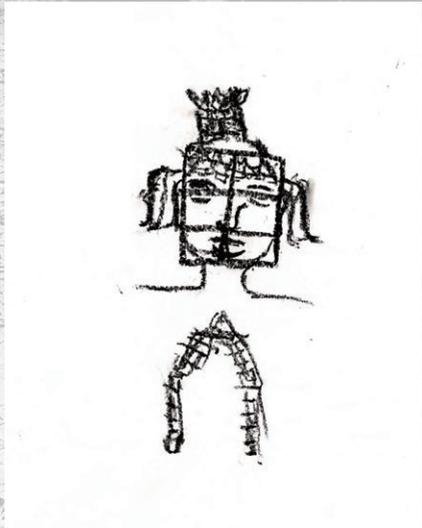
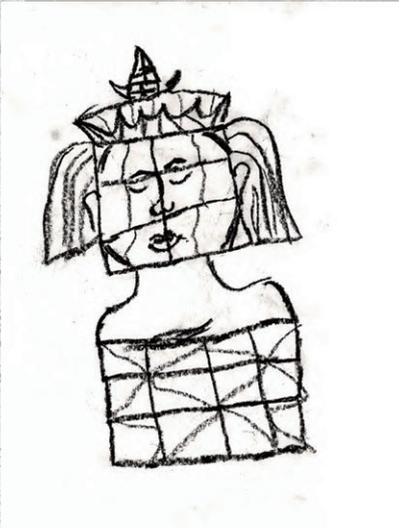


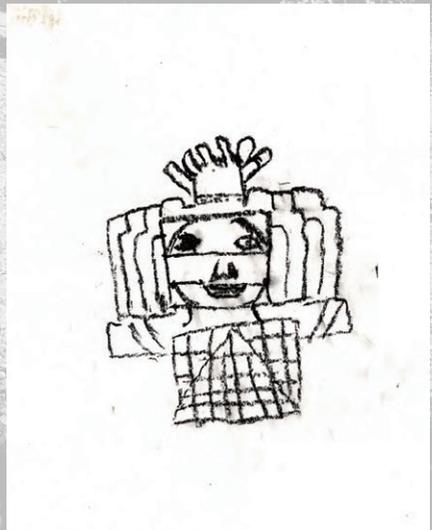
— Apsara Devada





– Architecture





あしがき

カンボジアでは色々な機会で、子どもたちと歌や、お絵かき、寸劇、ボール遊びなどをしてきた。子どもたちの瞳がキラキラしているのは、何もカンボジアだけのことではない。しかし、カンボジアの小学校では情操教育が特に行われている様子はないのに、彼等はその反面に無限の可能性を感じさせることが多い。子どもたちは楽しんでいたが、この様子を見る観光客がとても興味深そうにしていたのが印象的であった。子どもたちも、私たちからの講評よりも、友人のものからの影響を強く受けているようだった。是非、このような写生大会を今後とも重ねていきたい。

本冊子

文責 / 中川武

構成・編集 / 水野結唯、黒岩千尋

お問い合わせ

ADDRESS

〒169-8555 新宿区大久保 3-4-1 55S-908A
NPO GREEN WIND ASIA 事務局

E-MAIL

info.greenwindasia@gmail.com

HP

<https://www.greenwindasia.org/>

